自治協働のまちづくり 山形県最上町

バイオマス産業都市を目指して

最上町概要

- 人口8,800人
- 面積330㎢
- 森林84%
- 高齢化35.5%

平成30年７月５日

地方創生のキーワード「町民が主役」

人を呼び込む・人を産み育てる・人を支える

地方創生
まち・ひと・しごと創生本部

地域に自信と誇りを持つ

地方創生交付金
総合戦略ビジョン
定住自立圏構想

※ 国の課題

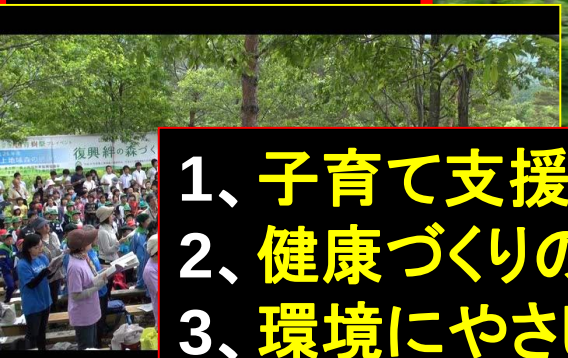
- 人口減少
- 一極集中

「都市の課題」
- 子育て環境
- 高齢化社会
- 環境問題

連携と共生

「地方の魅力」
- 人の温かさ
- 子育て環境
- 福祉の充実

食　文化



1、子育て支援の充実　(医療費・保育料の無償化・奨学金)
2、健康づくりの町・生涯現役光齢者　(都市との福祉連携)
3、環境にやさしい町　(再生エネルギーで笑エネ社会実現)

2020年までに再生可能エネルギー20%目標

小水力利用

一伐三残方式

GIS・高性能機械

・バイオマス
・太陽光
・風力
・小水力
・温泉地熱

泉熱利用

最上町のスマートコミュニティー事業
支援策・数値目標

地域システムの構築

太陽光発電とバイオマス

農商工観連携
町民ファンド

人材育成「海外研修」
（奨学金）

「地域自立分散型」エリア供給システムの構築

バイオマスの取り組み
平成１７年　ＮＥＤＯ実験事業

若手林業家
同志が会社を
立ち上げる

【林業の再生】
S47年～S50年
団地造成1，300ha
民有林　　5，000ha
間伐期

【雇用の創出】
バイオマス
エネルギーの生産
高性能機械の導入
コスト削減
【入口】

【環境への貢献】
人にやさしい町づくり
ウエルネス
クリーンエネルギー
CO2削減
【出口】

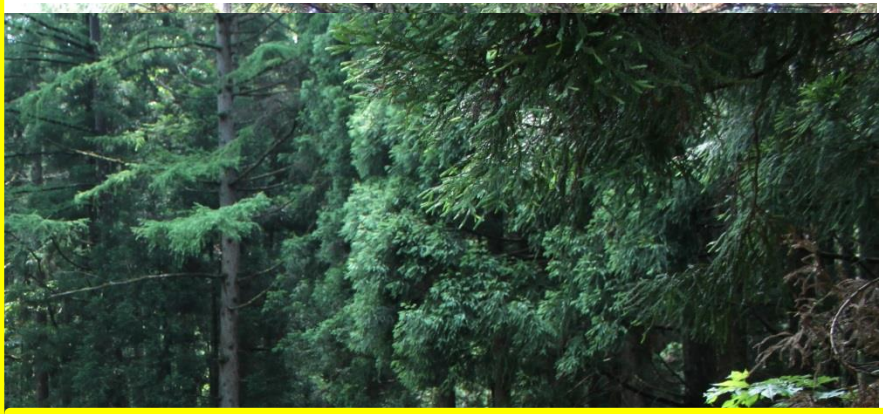
所有権と利用権分離

GIS・高性能機械導入

列状間伐「一伐三残方式」

バイオマスの取り組み

GIS・高性能機械導入



列状間伐　一伐三残方式

ウエルネスプラザ (NEDO)

熱供給・暖房・冷房・温水供給システム

実質事業効果5000万円

- 雇用・チップ生産4200万
- 化石燃料費換算4200万
- 地域活性化　600万
- プラント運営費4000万

最上病院・健康センター
老人保健施設

事業の成果
- 循環型社会の実現
- 産業としての林業
- 環境教育
- 体験交流

チップ　1，703トン
522.7トンCO2削減

一伐三残方式

国有林活用
(協定書締結)

木質ボイラシステム

燃焼炉温度		300°～700°
温水生成温度		85°
冷水	往温度	8.5°
	還温度	9.3°
温水	往温度	83°
（暖房　）	還温度	73°

3基のボイラ
550ｋW
700kW
900ｋW

「子育て大国」若者定住環境モデルタウン

土地3百万円・建物1.690万円　(助成金3百万円)

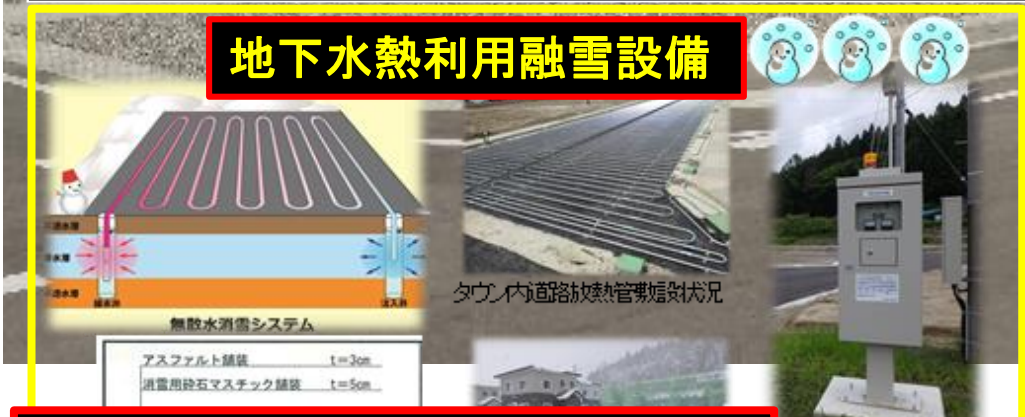
23区画分譲

◎　6棟　1,690万円(1棟)
違うデザインでエネルギーの
組み合わせモデルハウス
◎　7区画　土地分譲
◎　集合住宅10世帯

バイオマスボイラー・ペレット・薪ストーブ・太陽光・無散水消雪

バイオマス熱供給
灯油換算29,583ﾘｯﾄﾙ
二酸化単素削減　62トン

地下水熱利用融雪設備



太陽光

15.5ｋW

９０ｋW2基　60ｋW1基

CO_2削減効果を191.6tCO_2
(灯油利用の場合83,600Lを削減

町内で生産される木質系燃料

バイオマス産業都市を目指して

籾殻ペレット工場

ペレット工場

薪ストーブ

エコ地域通貨の提案
木の駅プロジェクト

災害支援協定
12市町村

太陽光発電

3社　5,000ｋW

小学校

公共施設合計
147ｋW

庁舎

・バイオマス発電会社

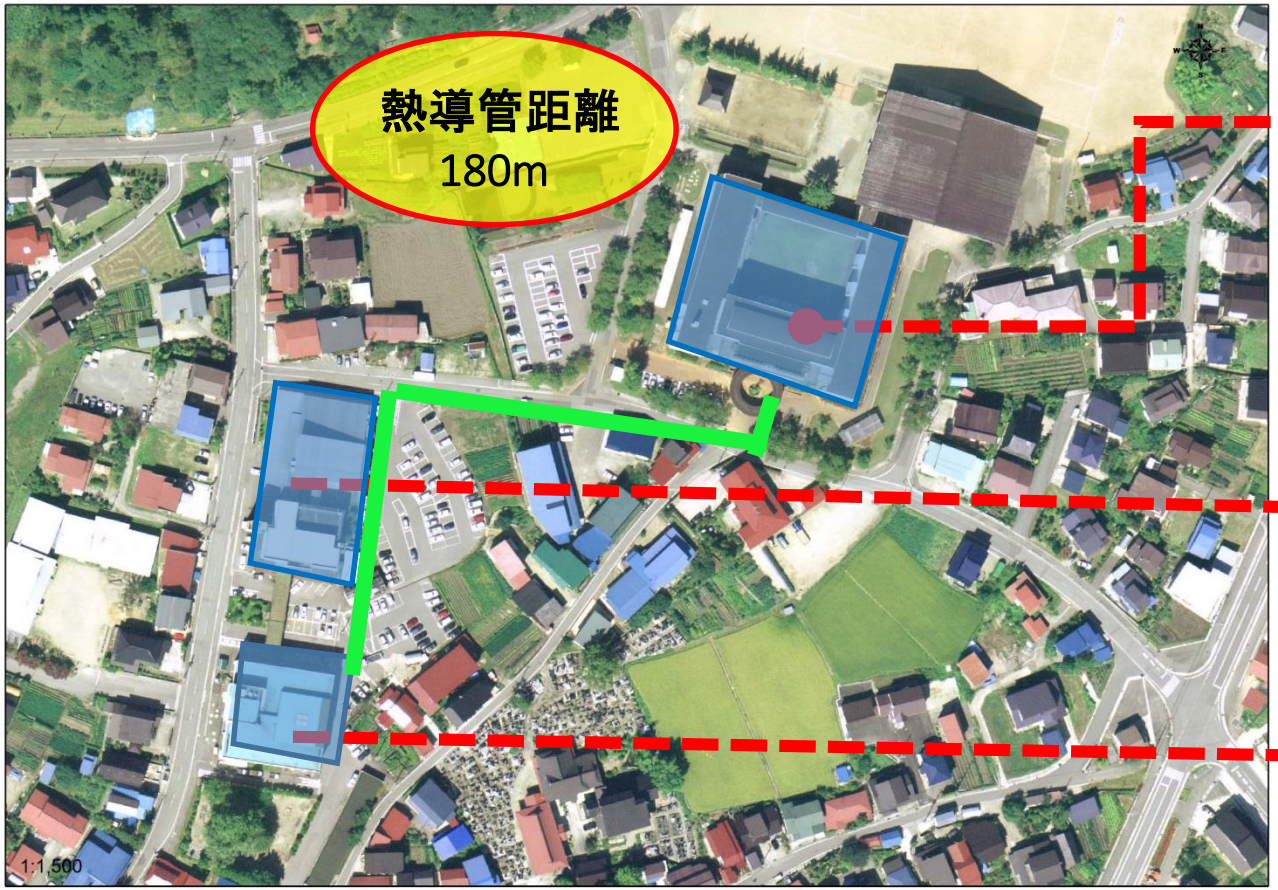
1,000ｋW

今後の検討課題

施設整備費を含んだ事業性の確保について、

「民間事業体による熱電併給事業の可能性を模索。」

（最上町役場、中央公民館、最上中学校を対象に
黒字経営を目指す。）



最上中学校

中央公民館

最上町役場

森林環境税創設

地方創生の想いは里山再生

森林ノミクス

森林を守る

森林を育てる

森林を活かす

森林を支える

地球温暖化防止等
発揮には間伐が

しかしながら・・・

森林現場が抱える課題

- ◆森林経営に無関心な所有者の増加
- ◆世代交代等で所有者や境界の不明確な森林が拡大
- ◆森林を手放したい（寄附したい）という所有者の増加

環境に優しいまちづくり

ポット苗

一貫作業システム提案

◎ 6棟　1700万円
遠うデザインでエネルギー
組み合わせモデルハウス

バイオマスボイラー・ペレット・薪ストーブ・太陽光・無散水消雪

環境教育 体験交流・教育旅行

次代を担う子供達へ

婚活♥

森が人をつなぐ　山形県最上町

バイオマス産業都市を目指して

豊富な資源と活気ある林産業

適正な管理と保全

次世代を担う
町の財産を育成

資源　活用　環境　産業　未来

町を支える

最上町の再生可能エネルギー

最上町は、地域の貴重な資源である
再生可能エネルギーの地産地消と
循環型社会の実現を目指しています

ウエルネスタウン

地域冷暖房システムの構築

若者定住環境モデルタウン

新たな需要の創造と地域産業を活性化

再生可能エネルギー
このページにかざすと動画をご覧いただけます。

森が人をつなぐまち 山形県 最上町

町を支える力となった再生可能エネルギー

戦後の日本では、復興と都市開発によ…イオマス
木材の輸入自由化や林業従事者の減少…造成する
全国各地で増加しました。最上町でも…なる発展
2006年バイオマスエネルギー実験事…

ご清聴ありがとう御座いました。